



OTE トークンのホワイトペ  
ー  
パー

## 内容

### 第1章OTEトークン

1.1 OTEトークンについて.....	1
1.1.1 OTEトークンの導入.....	1
1.1.2統合管理サービス.....	2
1.1.3資産価値の蓄積と付加価値.....	2
1.1.4複数のセキュリティ.....	2
1.1.5多言語サポート.....	2
1.1.6デジタル資産取引.....	3
1.1.7リスクのないデジタル資産の高頻度自動定量化 取り引き.....	3
1.1.8簡単で便利な取引.....	15
1.1.9便利な預金手段.....	15
1.1.10 OTEトークンインテリジェントプラットフォーム.....	16
1.1.11アルミニウムと敷地.....	17
1.1.12デジタル資産銀行カード.....	17
1.1.13リアルタイムスイッチング.....	17
1.1.14広範なアプリケーション.....	17
1.1.15 OTEトークン契約トークン.....	18
1.1.16 OTEトークン暗号化アルゴリズム.....	18
1.1.17 OTEトークン汎用トークン-----OTE.....	18

### 第2章OTEリリースプログラム..... 19

2.1 OTEリリース計画.....	19
--------------------	----

### 第3章原価レポート..... 21

3.1生産能力原価の計算.....	21
3.1.1生産能力原価表の計算.....	21
3.2転換費用.....	21
3.2.1変換費用表.....	21
3.3手数料の払い戻し.....	21
3.3.1手数料の返金に関する声明.....	21

### 第四章ユーザーインセンティブ商品化..... 22

4.1ユーザー・インセンティブの説明.....	22
-------------------------	----

# 第1章 OTE トークン

## 1.1 OTE トークンについて

### 1.1.1 OTE トークンの導入

OTE TOKEN デジタル資産スマートコントラクト電子財布（以下、OTE TOKEN）は、デジタル資産スマートDAPPであり、現実世界における電子財布アプリでもある。OTE TOKEN はマルチスマートコントラクトブロックチェーン技術とその高性能ブロックチェーンノードにより、デジタル資産に強力なスマートサポートを提供し、デジタル資産の実用化と発展を推進している。

OTE TOKEN は、さまざまなタイプのブロックチェーン資産に対応することで、安全で便利なインテリジェントソリューションを提供しています。ミッドレンジのデジタル資産のOTE TOKEN を使用して統合ストレージを実現

管理と高周波自動定量取引で、彼らは独自のブロックチェーンデジタル資産を完全に制御するだけでなく、

デジタル資産の適用

OTE TOKEN は、トークンアクセス性の高いブロックチェーン製品で、チューリングを完全にサポートしています

デジタル資産に対するスマート契約と安全な金融管理サービスを提供する。OTE TOKEN プラットフォームはブロックチェーン技術に基づいて分散コンピューティング機能と

デジタル資産のAPLインターフェースは、デジタル資産の実用性を大幅に豊かにします。

OTE TOKEN は、デジタル資産を発行するために、銀行と金融機関と深く協力する。OTE TOKEN を使用して デジタル資産をいつでもどこでも充電し 数千万の処理所で消費し ATMで利用できますユーザーの面倒をみない

異なる法定通貨の取引と管理を拡大し、デジタル資産の応用を大幅に拡大する。

ブロックチェーン技術やデジタル資産市場の発展に伴い、OTE

TOKEN はブロックチェーンのデジタル資産プラットフォームとして、より多くのブロックチェーン新事業を支援していく

プロジェクトは、ブロックチェーン資産の管理と流通を改善し、ブロックチェーンの生態効率の向上と市場の繁栄に貢献する。ブロックチェーンのデジタル資産の発展に貢献

より長期的には、より幅広い応用シーンでサポートされなければならない

現在、ブロックチェーン分野の研究が進む中、特に

スマートコントラクト、一部のブロックチェーン製品は実体経済分野で徐々に発展しており、企業側でウィンウィンの協力を模索している。しかし、ユーザーに提供されるサービスはもちろん、成功してローンチされ、大規模に利用されているものはかなり少ないのが事実です。ビットコインもETHもスマートコントラクトプラットフォームに基づいて新たに発行されるさまざまなトークンも、現実世界とより多くのやり取りがあってこそデジタル通貨の価値は増す、

これにより、デジタル通貨市場の繁栄と現実世界の効率化が促進された。

OTE TOKENは、安全で便利で効率的なデジタル資産プラットフォームを一般の人々に提供することを目指しています。デジタル資産と現実世界を連携させることで、誰もがいつでもどこでも手軽にあなたのデジタル資産を使えるようにし、ブロックチェーンの活用シーンを豊かにするテクノロジーとデジタル資産を活用し、ビジネスの進歩と社会の発展に貢献します。

OTE TOKENは、OTE TOKENスマートプラットフォーム、OTE TOKEN、デジタル資産銀行カードからなる総合的なブロックチェーンアプリケーション。OTE TOKEN Intelligent Platformが提供する製品とサービスにより、BTC、ETH、または各種トークンとデジタル資産の取引を管理しながら、お客様が迅速にブロックチェーンソリューションを導入できるよう支援することができます。また、お客様のデジタル資産を銀行カードにひも付け、デジタル資産と現実世界をシームレスに接続し、お客様があらゆる取引にデジタル資産を使用できるようにし、お客様がデジタル資産を使って取引できるようにすることもできます消費。

OTE TOKENはグローバルに拠点を置き、決済機関とカード発行機関をつなぐ機関は各国の法律や政策に沿った製品やサービスをユーザーに提供している。

### 1.1.2統合管理サービス

多様なデジタル資産を一元管理することで、OTE TOKENはビットコインやイーサネットなどの主流資産の保存・管理だけでなく、OTE TOKENなどのスマートコントラクトプラットフォームのパススループロトコルにも対応し、各プラットフォームで発行されるトークン数を急速に増やしていく。ユーザー管理の負担を軽減するとともに、ICOの新規プロジェクトにウォレットサービスを提供することで、プロジェクトチームがよりコアサービスに注力できるようにしています。

### 1.1.3資産価値の蓄積と付加価値

OTE TOKENはブロックチェーンの中核を担い、デジタル資産価値の保存と付加価値プログラムをユーザーに提供する。

### 1.1.4複数のセキュリティ

OTEトークンは多重署名技術保証と2ステップを提供  
さまざまな規模のデジタル資産管理の認証。ユーザーが選択可能  
取引を伝送する際の生体認証指標等の検証方法  
Ledger Nano Sのようなハードウェアウォレットの接続をサポートし、プライベートな  
デジタル通貨資産の安全性を十分に確保するために、ハードウェア装置におけるデジタル資産の鍵を提供する。

## 1.1.5多言語サポート

OTE TOKENは、米国、英国、中国、韓国、日本などの主要デジタル資産市場で多言語をサポートし、世界的なウォレットアプリの構築に向けて言語の壁を取り除く

### 1.1.6 デジタル資産取引

OTE TOKENは、独自の越境決済・小口決済ネットワークと、取引所APLとの連携により、ユーザーに簡単・便利・安全な決済・取引サービスを提供しています。

### 1.1.7 リスクのないデジタル資産の高頻度自動化

#### ていりょう取引

OTE TOKENは、リスクのないデジタル資産取引サービスの開発を基盤に、スマートコントラクト、クロス・チェーン・ゲートウェイ、クロス・スマートコントラクト・テクノロジー。ユーザは、OTEトークンを介してデジタル資産間で取引を行い、取引のためのスマートコントラクトは、プラットフォームまたは他の第三者によって作成される。契約メカニズムは取引過程を監視・執行し、取引当事者の違約リスクを回避する。OTEトークンがサポートする新トークンは、ウォレットサービスを介したリスクのない取引をサポートします。

#### 高頻度自動定量取引システムの開発

##### 液滴検出

この方法は、特定のパーセントの価格下落のシグナルを与えることである。この戦略を使用すると、コインの日次取引量に基づいて異なるbot動作を設定できます。

ホワイトリストに記載されている特定のコインを、さまざまなレベルの購入価格、売却価格、およびストップロスを調整します。

##### 壁検出

この手法は、長期にわたる大量の買い注文のコイン（裏付け）を明らかにする。図のblowの例：

情報



拡張（経験）

最後	0000039092
BVOL	022832
入札	0.00035235
問う	0.00075680
24時間高	80.00037730
24時間低	000003441

サポートをチェックする期間を指定するようにパラメータを構成します、AIStarlinkによってチェックが実行されます。

壁ポリシーの例：次のテキストをコピーしてAI-Starlinkに貼り付ける

##Begin\_Strategy

アクティビティ=-1

戦略名=壁テスト

コメント=アル=スタリンク

信号タイプ=壁検出

チャンネル名=

チャンネルキー=

無音グラフ=いいえ

レポートToTelegram=はい

OTECoinsホワイトリスト=

その他のブラックリスト=TRX.NBT

最小体積=10

最大体積=500

自動購入=No

最大処理オーダー=10

自動購入取消=180

購買タイプ=購買オーダー・サイズ=0.00000000購買価格=-3.00000000

UseStopLoss=いいえ

損切り=1.00000000

PaniceSellSpread=0.10000000

AllowedDrop=0.00000000

末尾の使用=Yes

トレースポイント=-1.00000000

UseTakeProfit=はい

利益=2.50000000

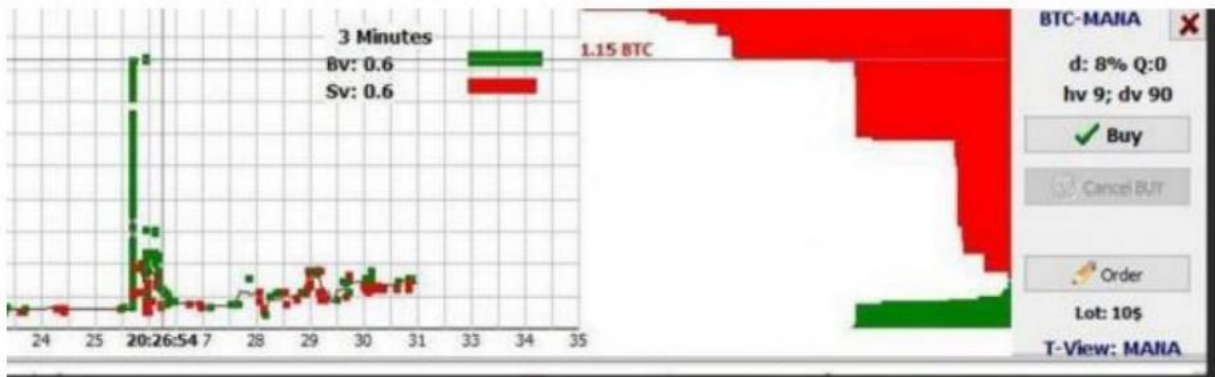
販売価格=4.00000000

```

最大廃棄時間=600
ドロップ=1
DropsLastPriceMA=1
DropsPriceDelta=1.00000000
下降速度=いいえ
壁の最大時間=3600
WallsPriceDelta=4.00000000
WallBuyVolDeep=2.00000000
壁購入数量=10
WallBuy VolToDailyVol=10.00000000
WallSellVolToBuy=75.00000000
WallSellVolDeep=15.00000000
##End_Strategyf
    
```

### ポンプけんしゅつ

実行された購入注文（市場履歴）を迅速に検出する。例：（ちなみにエラー検出は以下の警告）



細い緑色のろうそくは、1秒間に実行される購入注文のパッケージです。（実際には1人のバイヤーが11 BTCで法力をたくさん買っていた）。

多くのポンプ検出ポリシーを設定できますが、現在アクティブにできるのは1つのポンプ検出ポリシーのみです。

知っている場合は、あらかじめ知っているポンプにのみポンプ検知を使用することをお勧めします。正確なポンピング時間を得ることができるようにする。ポンプ通知の15秒前にオンにし、すぐにオフにします。

警告！誤検知のリスクが高い！多くのパラメータを回避するように構成できますが、一部のキャンペーンはポンプとみなされる可能性があります

上の法力の例。

大規模なポンプセットを例にしたコインポンプ推奨パラメータ値の検出実際のポンプ(mega\_pump\_group)



**PumpPriceRaise: =7;**-過去30秒で7%値上がり。値が大きいほど価格は低くなる

誤検知の機会、一方、価格がまだそれほど高くない場合は、できるだけ早くポンプを検知したいかもしれません。

**PumpBuysPerSec: =20、**

**PumpVol PerSec: =0.8;** 初回購入者の増加数。(通常は管理者と

この値が大きいほど誤検出の機会は少なくなる

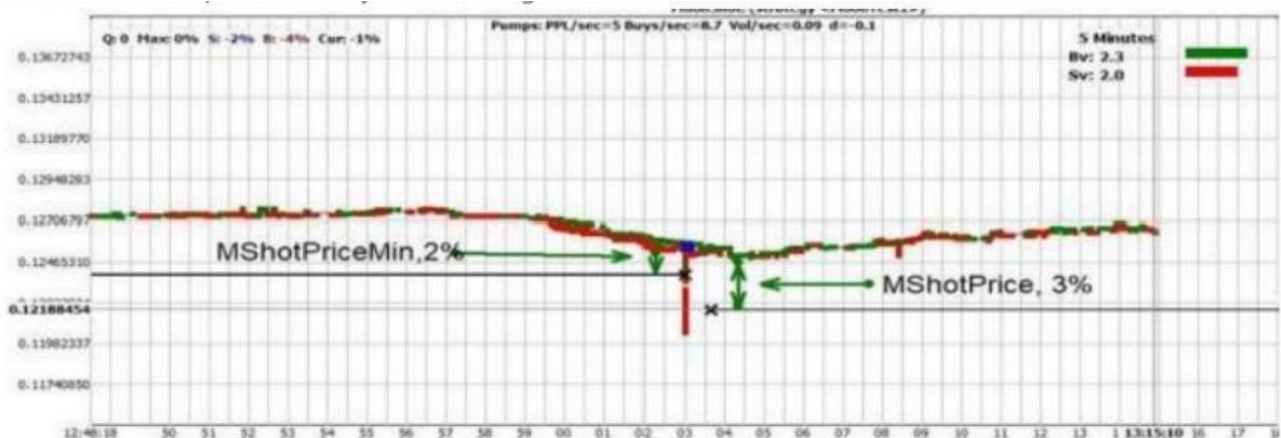
**PumpBuyersPerSecMax: =4、**2~4人以下が既にメダルを購入している場合に、最初にポンプを検知することを目標とする。

**PumpBuyersPerSecMin: =2、**1人のバイヤーだけがポンプに関係のないトークンをたまに購入した場合のケースの拒否

### STARLINKSHOT(スパイクで購入):

この戦略は買い注文を発行し、ピークを捕捉するためにそれらを自動的に置き換えます。(見る次の図)最初は、注文の価格がYLSHOTPriceの市場価格(例では3%未満)を下回っています。さらに価格がYLSHOTPriceMin(例では2%)に下がると、注文は現在の市場価格からYLSHOTPriceに置き換えられます。価格が上昇すると、注文は増加します。

したがって、注文価格は常にYLSHOTPriceからYLSHOTPriceMinの間になります。



遅延(YLSHOTReplaceDelay)を使用すると、減少傾向にある受注の交換を遅らせることができます、これは

リスクはもっと大きいですが、実際の取引はもっと多い。YLSHOTReplaceDelay=0の場合、注文は上の図に示すようにスパイクのみを捕捉します、これはリスクは小さいが、発生頻度は低い。

リワードリフト遅延(YLSHOTRaiseWait)を使用して、クイックポンプ上でのオーダーの移動を回避します(これは非常に危険です)。また、ポリシーDaily Volume Filterを使用して、ダンプ捕捉を防止します(フラッシュ・ポンプは、Daily Volumeの下位トークンでのみ発生します)。

価格が比較的急速に低下した場合、YLSHOTReplaceDelay遅延を使用することは意味がある交換買い注文; この場合、取引の確率は高くなるが、リスクも高くなる。検出器は4つの間隔を使って、平均価格と取引量の以前から現在までの伸びをチェックする

次のinterval.Growthはパーセンテージで設定されます。0%に設定すると、条件は「price」になります。いずれかの間隔に-1000を指定すると、その間隔のチェックは無効になります。

図の説明: P-価格、V-数量



パラメータ:

- VLiteT0..VLiteT3: 間隔、秒
- VLiteP1..vlitep3: 平均価格が前回から次へと間隔を空ける (%)
- VLiteMaxP: (%を超えない価格上昇) (フラッシュポンプの拒否に役立つ--ダンプ検出。当社は自然増を目指している)
- VLiteDelta1、VLiteDelta2: お互いの値上げ率を比較すると、%。(例: P1=1%、P2=2%、P3=1%。これは、前の区間の伸びが前の区間よりも小さいことを意味します。この場合、PDelta1=100% (1%から2%)、PDelta2=-100% (2%から1%) ) となります。
- VLiteDelta0: レンジ内の価格変化 (レンジ内の最大と最小の価格の差)、%
- VLiteMaxSpike: Max.Price対avg.price、 (%) 以下。スパイクを拒否する。
- VLiteV1..VLITEV3: 前から次へ間隔を空ける (%)
- VLiteDetectPenalty: 成功から1秒後に新たに検出された場合のペナルティ。
- VLiteWeightedAvg: 該当する場合は加重価格の平均値を計算し、該当しない場合は取引数の平均値 (価格の合計/取引の合計) を計算します。

その考え方はVolumes Liteと同じで、検出器は4つの間隔を使って、前の間隔から次の間隔への価格と取引量の偏差をチェックする。Volumes Liteとは異なり、負のパラメータは値が下がり、正は値が上がることを示し、ゼロパラメータは無視されます。

パラメータ: P-価格、V-数量

- 波0..波3: 間隔、秒
- WavesP1..wavesp3: 平均価格が以前から次へ (%) 間隔を空ける。負のパラメータは値が下がり、正のパラメータは値が上がることを示し、ゼロのパラメータは無視されます。
- WavesDelta0: 間隔内の価格変化 (最大価格と最小価格の差)、%。負のパラメータは値が下がり、正のパラメータは値が上がることを示し、ゼロのパラメータは無視されます。

- **WavesMaxSpike**: 平均価格に対する最大価格、(%)を超えない。スパイクを拒否する。
- **WavesV1..wavesv3**: 前の間隔から次の間隔までの平均音量(%)。負のパラメータは値が下がることを示し、正のパラメータは値が上がることを示します、ゼロ引き数は無視されます。
- **WavesDetectPenalty**: 1回(秒)成功した後の新しい検査に対するペナルティ。
- **WavesWeightedAvg**: 該当する場合は加重価格の平均値を計算し、該当しない場合は取引数の平均値(価格の合計/取引の合計)を計算します。

### DELTA(価格\出来高偏差)

パラメータ:

**DeltaInterval**: 価格分析と取引分析の間隔(秒)(300以上の長い間隔)

秒)

**DeltaShortInterval**: 移動平均の計算に使用される間隔、秒(短い間隔、2~10秒)

**DeltaPrice**: 長期ゾーンの価格変化(delta, %)、より大きい。移動平均曲線上の最大点と最小点の差として計算される

**DeltaVol**: 長い間隔の合計出来高(買い+売り)が(BTC)より大きい

**DeltaVolリフト**: 長い間隔での合計体積のリフトが、前の長い間隔で同じ体積を超えています(%、0%は体積が前の体積以上であることを示します)。

**DeltaVolSec**: スパイクが削除されてから計算された最後の数秒のボリューム。スパイク検出を拒否する場合に使用します。0の場合は無視されます。(将来的には計算方法を調整する可能性があります)。

じっけんてき

パラメータ)

**DeltaBuyers**: バイヤーは短い間隔がより大きいことを期待しています

**DeltaLastPrice**: 平均価格(長い時間間隔)に対して、最終価格(短い時間間隔)が変化している。値がプラスの場合は、価格が上昇しているかどうかをチェックします。負の値の場合、価格が下落しているかどうかをチェック0の場合、このパラメータは無視されます。

**DeltaDetectPenalty**: 繰り返し検出のペナルティ、秒。

### くみあわせ

コンボは2つのポリシー(「開始」+「終了」)のペアであり、それらは一緒に動作します。**AI-Starlink**は、最初のポリシー「開始」がシグナルを発した後、指定された時間、2番目のポリシー「終了」を待ち始めます。「終了」ポリシーが待機中にシグナルを送ると、**AI-Starlink**はトークンを購入し、コンボを使用します

そのポリシー設定を取引します。そうでない場合、ロボットは再び「開始」戦略を待ちます。

注: 開始ポリシーと終了ポリシーの両方で**AI-Starlink**をオンにする必要があります!

3つの戦略はすべて有効でなければなりません。

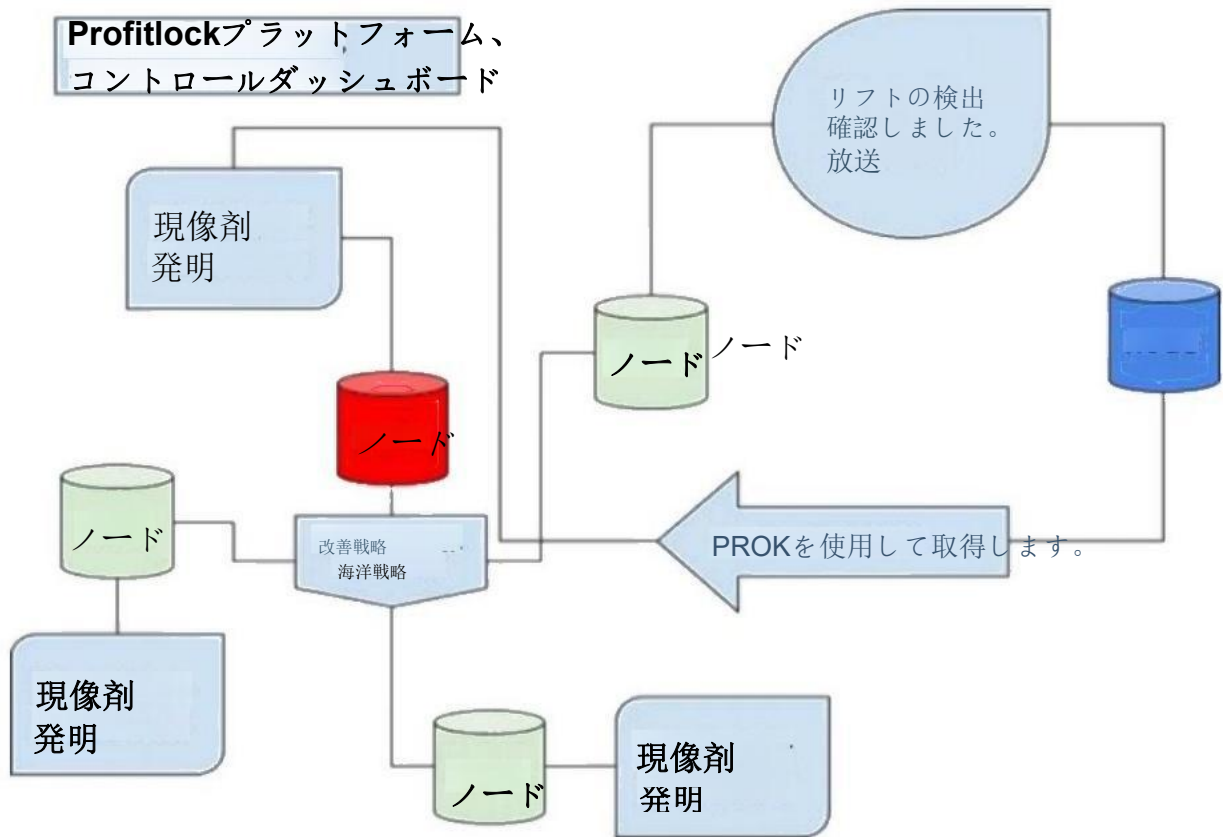
パラメータ:

複合起動：最初のポリシー

組み合わせ：2つ目の戦略

ComboDelayMin: 1回目と2回目のポリシー・シグナルの間の時間（秒以上）

ComboDelayMax: 1回目と2回目のポリシー・シグナルの間の時間(秒以下)



アルゴリズム開発では、AI-Starlinkのようなサンドボックスを作りたいと考えています  
 私たちのビジョンは、より多くの人々がアルゴリズムコミュニティに参加し、OTEトークンのユーザーに自己サービスを提供するために、ブロックチェーンライブラリをベースとしたコード化されたブロックアルゴリズムのプールを提供することです

OTEを開発するための分散AI-StarlinkアルゴリズムをテストするためのAI-Starlinkサンドボックスの学習

トークンインテリジェントプラットフォーム。このビジョンを実現するには、先行開発を完了しなければならない。OTE TOKENでスケーラブルなブロックチェーン技術を運用し、取引と取引所間の相互作用のための高度な高頻度自動定量化取引プロトコルを提供することで、ビジョンを推進し、今後も発展させ、その成果をすべて共有していきます

OTEトークンユーザのアルゴリズム研究。

アルゴリズムエコノミーの詳細

- OTE市場の透明性
- ・予測の正確さ
- 出来高マッピング

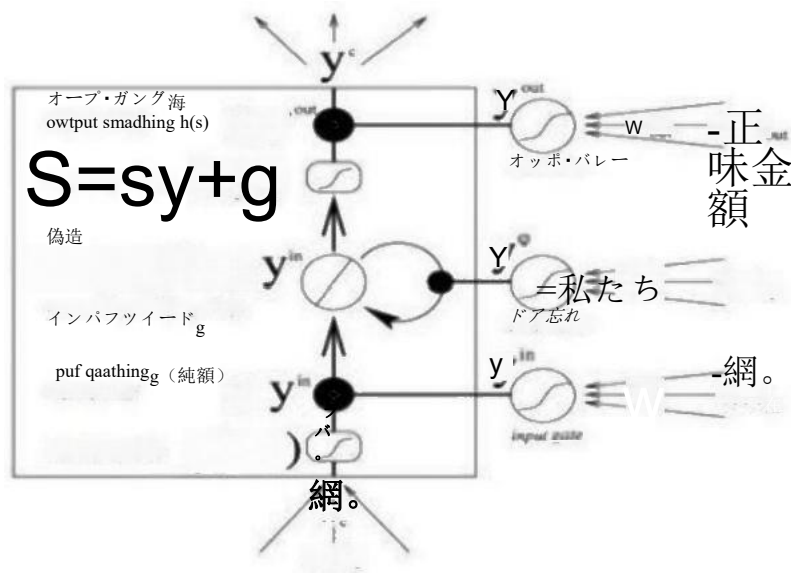
加重平均スコア(アルファ)が表示されます。スコア一致度 ( $\phi$ ) により、開発者は一定期間 (t) 報酬を獲得する。その結果、このスコアはAI-Starlinkに報酬として付与することができる。

$$w = \phi \text{ at}$$

AL-Starlink開発者がこれらのアルゴリズムを使用できるようにすることで、売り手は、事前に公開されたOTE戦略または公開されたOTE戦略に30%以上のOTEを使用するか、または同量のOTEを使用し、wの結果に基づいてスコアをランク付けしなければなりません。これらの作業と結果の検証は、IOTAネットワークで登録IDを使用して実行されます。このようにして、ネットワークは、クレジットと反復進行を元の開発者に透過的に提供する。

政策が与えられた順位と一致する場合、定数wは大きくなる。

単一市場で成功する可能性が高まると同時に規模が増大し、他の市場が戦略に影響を与えることを可能にする。知識をフェアウェイ上で共有することを認めることで、同意制度は同意制度では、加盟する投資家、株主、エクイティ開発業者、AI-Starlinkネットワークスからなる投票の大多数（少なくとも51%）が、別のAIStarlinkを取得または合併したり、時代遅れの戦略を削除したりすることが可能となる。開発・運営方式の発展に伴い、エコロジーシステムはアルゴリズムを改善し続け、悪いアルゴリズムを退出することができる



LSTMsは、RNNsを完成させるための重要なステップです。

テクニカル指標の市場分析には、さまざまなテクニカル指標があります。取引の「テクニカル分析」の範囲は広い。ほとんどが対象外なので、簡単なテクニカル指標を3つだけ提示します。それぞれの指標は、それぞれのタスクに重点を置いています。

トレンドの概念は、テクニカル分析における重要な概念である可能性がある。金融の定義は、この用語の一般的な定義と全く同じではありません--トレンドは、実際には証券や市場の大きな方向性にすぎません。

マCD

移動平均収束/発散振動子（MACD）は簡単で効率的な方法である  
 運動量指標。短い方の移動平均線から長い方の移動平均線を引くことで  
 MACDは、2つのトレンドトラッキング指数を運動量振動指数に変換し、平均線を運動量振動指数に  
 移動させる。

量的指標市場動態は市場全体のセンチメントの指標であり、市場トレンドの売買をサポートす  
 ることができる。投資家が市場の動きを追跡するのに役立つ市場要因や指標はいくつかある。

### 量子化発振器

量子化発振器は、高い領域と低い領域に対する一定期間の発振器の位置を示す運動量指針で  
 ある。

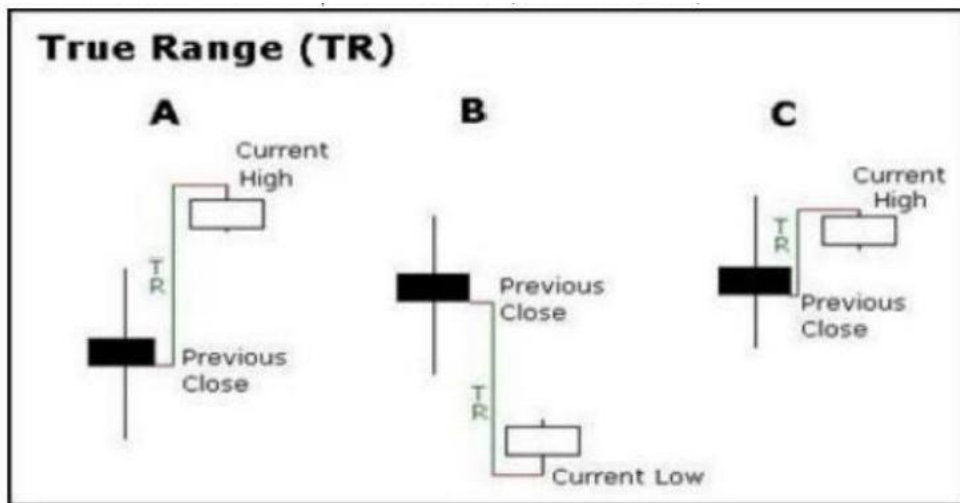
### こうしゅうはひょうじき

高頻度自動定量化取引量とは、一定期間内に市場全体で取引されたOTEまたは契約の数  
 である。

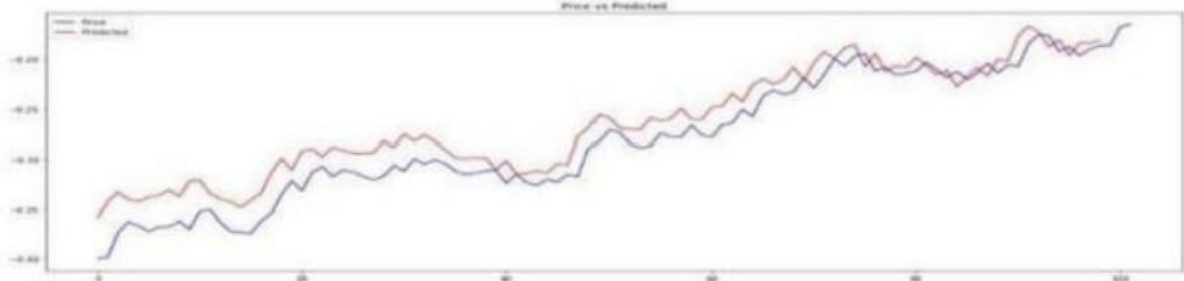
### 実距離へいきんしんきょり

ATRはボラティリティーのテクニカル指標（価格ではない）。大:

- A: 電流高低電流低法
- B: 現在の高値と安値の前に引け（絶対値）
- C: 現時点で前終値を下回っている（絶対値）



深い回帰上記の指標モデルと戦略を実施することで、価格設定モデルの影響を開発し、ニュー  
 ラルネットワークの深さからより良い結果を導き出すことが可能になります



### 市場分析

提案する価格予測プラットフォームツールは、回帰直線投影RNNを使用して市場分析を行います。アイデア全体は、何が起きているのかを予測するのに役立つ多くの情報をコード化した一連の単語と単語の列で構成されています。ステップ1は単語を単語にマッピングするembed。Step 2は受け取ったベクトル系列を入力とし、ベクトル系列を予測RNNを生成します。埋め込みレイヤーから、新しい表現がLSTM単位。これらの追加コンテンツは常にネットワークに接続されているため、データに単語のシーケンスに関する情報を含めることができます。

機能 (パラメータを持つ) を使用する  
Q関数を近似する

- ・線形
- ・非線形:Qネットワーク



$$Q(s,a) \approx Q^*(s,a)$$



次のステップは分析に集中することです"RNNがあらゆるステップで情報を増やして情報を集めること最近の研究では、ネットワークに頻繁にOTEを払うRAMが実行データセットについてバイナリーアドバイスを提供することが示されています。



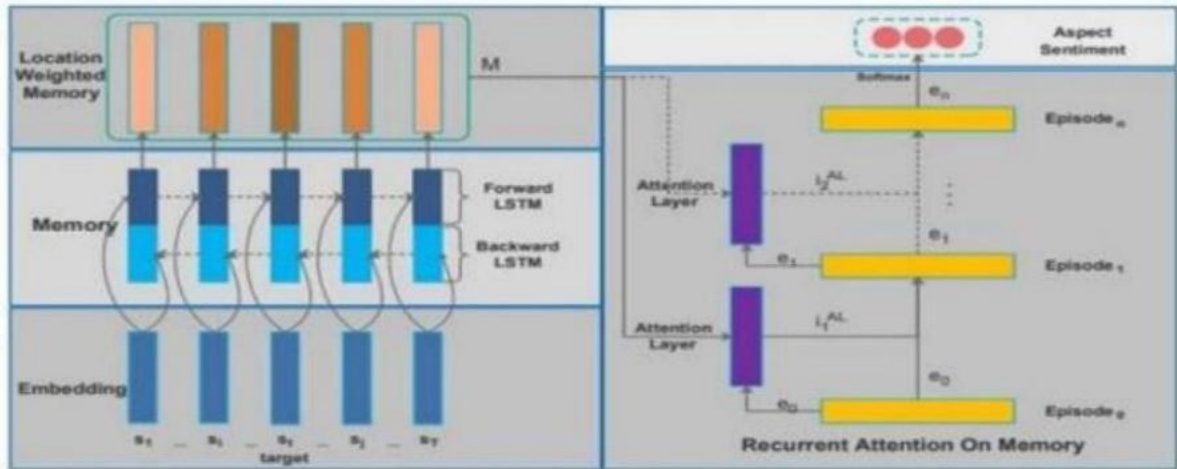


図1:モデル建築右側の点線は層が追加されるか,追加されないかを示しています.

ディープ高頻度量子化トレーダー

### ベルマンほうていしき

最適Q値関数 $Q^*$ は達成可能な最大の期待累積報酬である  
与えられた状態から **action) pair**:

$$Q^*(s, a) = \max_{\pi} \mathbb{E} \left[ \sum_{t \geq 0} \gamma^t r_t | s_0 = s, a_0 = a, \pi \right]$$

高頻度量子化取引は、その効用を金融分野にまで拡大する大きな可能性がある世界。強化された高頻度量子化取引に基づいて、行動の結果とランダム性要素を激励する。暗号化されたデジタル資産市場から継続的に価格を求めるのに最適です。高周波量子化関数の力はプレイヤー（戦略）とコメンテーター（機能）の戦略勾配と定量的な取引学習を組み合わせる。

初期化ポリシーパラメータ $\theta_0$ 、キーパラメータ $\phi$

反復=1の場合、2...

現在のポリシーで $m$ 個のトラックをサンプリング

$\theta \leftarrow \theta_0$

$i=1$ の場合... $m$  do

$T=1, \dots, T$  do

$$A_t = \sum_{t' > t} \gamma^{t'-t} r_t^i - V_\phi(s_t^i)$$

$\theta \leftarrow \theta + A$  の  $\text{olog}(A^2)$

$$\Delta \phi \leftarrow \sum_i \sum_t \nabla_\phi \|A_t^i\|^2$$

$\theta \leftarrow a \theta + b$

$\phi \leftarrow \beta \phi$

終了日

上記のAI-Starlink最適化方程式を用いて関数の量子化を実現する。定量関数は市場の感情と投入を調節する一般的な方法であるが

戦略的ツールである定量化関数の反復は、市場価値によって自身を動かし、トレンドから洞察力を生み出すだろう。

#### 自律制御層の組み合わせ

強化学習は高頻度自動定量取引の一部であり、ユーザは自分の高頻度自動定量取引訓練モデルをプラットフォームに導入し、それを他の子孫モデルに進化させることができる

誰もがプラットフォーム上で独自の戦略モデルを提出することができ、反復的な研究によってモデル生成の活力が増す。AI-Starlinkアルゴリズムの開発では、AI-Starlinkインテリジェント・プラットフォームのようなサンドボックスを作成しており、才能ある開発者や決済データサイエンティストにOTE TOKENインテリジェント・プラットフォームの利用を促します。

#### <OTE TOKENベーシックボーナスシステム>

スマートコントラクト・ブロックチェーン・ネットワークに基づき、IOTA、Waves、TRON、RSK、BSC、イーサリアム、さまざまな既存技術を統合し、当社の基本的な報酬体系を構築します。報酬は、与えられた一貫性アルゴリズムによって生成される。実際の市場価格における競争の継承は、価格予測と実行可能なイン・ポイントとアウト・ポイントの特定の市場相関に依存する。AI-StarlinkがそのOTEの重み要素をどのように使用するかに基づいて、関連するスコアが与えられる。これらすべての成功イベントに応じて、AI-Starlinkはトークンシステムの報酬を受け取ることができます。

シミュレーションテストは壁に反映され、すべての視聴者が利用できるようになります。分散型AIStarlinkネットワーク経済（DAN）。

私たちのビジョンは、ブロックチェーンライブラリをベースとしたコード化されたブロックアルゴリズムのプールを提供し、アルゴリズムコミュニティに多くの人を参加させ、他の人にAI-Starlink取引を提供することです

計算能力、分散AI-Starlinkアルゴリズム開発プラットフォームのテスト

このビジョンを実現するためには、先行開発が欠かせない

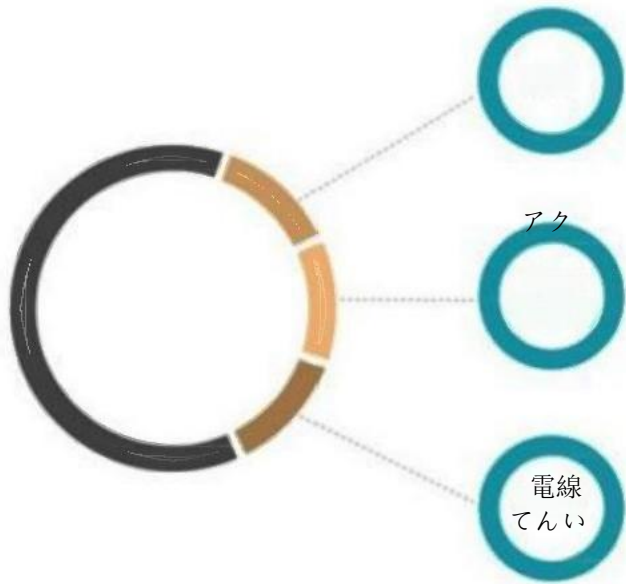
分散型ネットワークは、取引所で動作し、分散型取引所と集中型取引所との間の高レベル取引ライセンス契約証明書を提供します。私たちは、私たちのビジョンを推進し、将来的に発展させ、AI-Starlinkのコンピューティング能力に関するすべての研究をブロックチェーン事業の範囲内で利用できるようにします。

### 1.1.8 簡単で便利な取引

エクステンジAPIを接続することで、OTE TOKENはユーザーに最も割安な市場価格と簡単な取引操作体験を提供することができる

TOKENは簡単な方法で売買率を示し、高頻度に入ることができる

取引の自動的な守備化オス 利用者+入場オス+が+で 簡単に取引を完了し、インセンティブに参加でき



・Traotional transterシステムはcuncersomeプロセスです。

・skw paxedf nutonal revenueと eperdtwemsles the trander proceis costly

・送金は1件ごとに料金を徴収し、ngh手数料を少額で徴収する

これは伝統的な貿易モデルであり、うまく適応することができ **新規**

\*h emears へh tr 変換はまだ複雑です。tme comung 安d工スへh工

rertwort ransmouon, chect proxmung. オーレンシーと キャンベリオンには高床がある

ansxtonefceneyは低いのに対し、ceck は窃盗nkとも高いのです。

チェリーのアウトメイヤー・コッツとチュー・アンズとチーク・h・ハンディング・エボック・エックス

すぐに

### 1.1.9 便利な預金手段

OTE TOKENは、国際決済サービスプロバイダーと接続することで、ユーザーに銀行カード決済チャネルを提供し、ユーザーはOTE TOKENで発注を開始するだけで、OTEで決済することができる

TOKENは米国ドル、香港ドル、日本円、ユーロ、英ポンドなど5つの主流通貨の導入を実現し、デジタル資産の高頻度自動数量化取引を完了する。

### 1.1.10 OTEトークンインテリジェントプラットフォーム

OTEトークン・インテリジェンス・プラットフォームはチューリングの完全契約で、デジタルの提供を目指す

資産移転交換と専門金融サービス、OTE TOKENスマートプラットフォームは金融関連スマートコントラクトを生成し、デジタル資産のセキュリティ問題を解決する

認証。デジタル資産の金融機能に特化したOTE TOKEN Intelligent Platformは、冗長なデータを持たない安全性と高性能を備えています。

OTE TOKENインテリジェントプラットフォームの設計理念では、デジタル資産そのものが高品質な

頻度自動数量化取引はインセンティブメカニズムの完成により発生した関連する鉱夫費用のリターンを定量化する。インセンティブにはデータや取引が分散している必要がある

OTEトークンインテリジェントプラットフォーム上で構成されたデジタル資産を生成するマイニングサービス

生成またはマイニングされたデータを提供しながら、契約に適切な機能を提供するアルゴリズムを使用してデジタル資産を保存します

大量のOTEトークンユーザーがこのプログラムまたはデータマイニングアプリケーションを実行して、デジタル資産にデータを提供したりマイニングしたりする取引プログラムを自動的に定量化する

サービス、OTEとそれに伴うデジタル資産を稼ぐ。OTEトークンインテリジェンスに投稿

アルゴリズムと一定の数のデジタル資産を保持するためのプラットフォーム、OTEトークンのインテリジェント化

プラットフォームユーザーは、高頻度自動量子化取引プログラム上で実行することで良好なOTEとデジタル資産契約を獲得することができ、デジタル資産に分散化されたデータサービスを提供することができることを発見した。インテリジェント・プラットフォームのOTEトークンでは、プロジェクトの当事者は

ブロックチェーンのパターン、ブロックサイズ、

コンセンサスの仕組み、マイニングパターンなどを作り、一定数のOTEを預け入れて、そのOTEをOTE TOKEN Intelligent Platformはニーズに合わせて、いくつかの業界の労働力を切り替えてスマート契約プロトコルを生成し、OTEのプロジェクトブロックをサポートし、対応する

デジタル資産。OTEトークンインテリジェントプラットフォーム取引は、自動構成力によって良好な利益を得ています。プロジェクト側にとっては、デジタル資産を簡単に預け入れ、分散したスマート契約プロトコルとそれに伴うサポートを受けることができます。このように、数字は

ビジネス・アプリケーションから資産を完全に切り離すことで、パフォーマンスの問題を解決し、デジタル資産をより安全にします。

## OTEトークン

---

プロジェクト側のビジネスアプリケーションに不満がある場合は、OTE TOKEN intelligentプラットフォームはまた、スマートコントラクトを提供することができます——集中サービスプログラム、デジタル資産を預け入れ、OTE TOKENスマートプラットフォームに公開することで、OTE TOKENユーザーと計算能力を提供する。

プロジェクトのデジタル資産はフレームワーク全体にわたって完全に分散して設計されている信憑性は頼もしい。OTE TOKENとOTE TOKENスマートプラットフォームのアーキテクチャ設計は、ブロックチェーン開発におけるコストが高く、難易度が高く、計算能力の浪費といった問題を徹底的に解決した。

### 1.1.11 アルミニウムと敷地

AIやIoTの時代、ブロックチェーンやデジタル資産がやってくる  
ブロックチェーンは彼らにとって不可欠ですブロックチェーンは人工知能と物事のインターネットの最良のキャリアですOTE TOKENは独自のクロスチェーンとクロスインテリジェント契約技術を通じてあらゆる種類のデジタル資産取引を自動的に完了することができますオーテ・トークンは  
通信の基礎はアルと物事のインターネットです

### 1.1.12 デジタル資産 銀行カード

デジタル資産と物理的な世界を繋ぐために、OTE TOKENは銀行カードを試行しています  
サービスデジタル資産で物理カードを充電し、  
物理的な世界現在、OTE TOKENチームはカード発行者とのギャップを埋め、デジタル資産に使用できる銀行カードを発行する準備をしている。

### 1.1.13 リアルタイムスワップ

ユーザーはオフライン決済のために銀行カードを利用する必要がある場合、OTE TOKENに保存されているあらゆるデジタル資産にチャージして取引することができる。これにより、利用者は電子ウォレット口座にデジタル資産を保有し、取引時に現地通貨に交換することができる。

### 1.1.14 広範なアプリケーション

銀行カードで発行されたOTEトークンカードは、オフライン取引に利用できる。既存の現金自動預払機は利率が高く、従来の方法よりも効率が高い。同時に、  
金融機関との提携により、OTEトークンカードは数千万カ所の処理拠点で消費され、200以上のATMで現金を引き出すことができる  
世界各地の国や地域。

### 1.1.15 OTEトークン契約トークン

OTE TOKEN契約トークンとは、認証者が検証者に有用な情報を提供することなく、検証者に正当性を説得する能力である。OTE TOKENは契約トークンを利用してクロスチェーン、クロススマート契約技術を完成させた。

### 1.1.16 OTEトークン暗号化アルゴリズム

SHA（セキュリティ・ハッシュ・アルゴリズム）によって設計されているのは、米国家安全保障局（NSA）であり、米国である。国立標準技術研究所（NIST）は一連の暗号化ハッシュ関数を発表した。

OTEトークン暗号化技術をカスタマイズすることで、OTEトークンネットワークデータのセキュリティを確保します。

### 1.1.17 OTEトークン汎用トークン-OTE

OTEはブロックチェーン、「PtoP」分散技術に基づいて開発されたネット上のデジタル資産で、暗号化アルゴリズムによって保護されている。OTEは配布、支払い、清算に広く使用される汎用トークンとなる。



## 第2章 OTE リリースプログラム

### 2.1 OTE リリース計画

OTEはOTEトークンが発行するトークンで、総発行量は5億。以下は配分状況スケジュール:

ひれい割当て詳細コメント			
2%	前売り	OTEトークンアイテム用 その後の開発、人材採用、マーケティングなど。	初期に戻す 貢献者
30%	貿易採鉱 サービス等	ユーザーはOTEトークンで使用可能 プラットフォーム、コンピューティング  電力とデータのサポート、OTEトークンのマイニングやインセンティブの獲得などのトレーディングサービス。	この部分は全体の30%を占めていますが、 後期増発なしで利益買い戻しプログラム開始へ
8%	コミュニティ 報奨	ユーザーにダウンロード、普及、節約、現金を奨励する。  空運、消費、シフトなどが続いた。	そうだ グローバルコミュニティ ユーザー。
10%	きこうてき 投資家	早期の企業投資家への還元、企業連携ビジネスの構築に充てる  きょうどうくみあい	このセクションの発行にOTEしてください OTEはスマートコントラクトとロックされ、発売後1か月から開始される 取引所では、毎年20%のロックダウンが解除されている。 5年ぶりに全体のロックを解除する。

OTEトークン

<p>40%</p>	<p>創立チーム</p>	<p>チームの創設に戻るために デジタル資産分野の探求と発展 OTEの将来のメンテナンス トークン製品の技術と運用の 開発 その見返りに。</p>	<p>OTEがこのセクションを公開しました OTEはスマートコントラクトによってロックされ、発売後1か月 取引所ではこの部分が年10%ロックダウン解除されていますが、 10年でロック解除 全体。</p>
------------	--------------	---	---

<p>10%</p>	<p>基礎</p>	<p>OTEの発展とともに                  継続的なプロジェクト開発お                  よび                  商業生態建設                  国境を越えて                  決済業務が発展。</p>	<p>この部分の使用                  必要資金                  財団の決議と一般公開                  前もって知らせる</p>
------------	-----------	--	--

## 第3章原価レポート

### 3.1生産能力原価の計算

#### 3.1.1生産能力原価表の計算

OTE TOKEN Intelligentプラットフォームでは、プロジェクト側が短い時間。彼らは、鉱山労働者に計算能力を提供してもらうために、契約資産の中に一定量のデジタル資産を格納する必要がある。また、プロジェクトでユーザーが分散コンピューティング能力、データマイニングサービスサポート、トランザクションマイニングサービス、プロジェクト側はデジタル資産の事前支払いも必要です。

### 3.2転換費用

#### 3.2.1変換費用表

ユーザーは異なるデジタル資産間の変換を完了する必要があり、分散交換サービスに一定の料金を支払う必要がある。

### 3.3手数料の払い戻し

#### 3.3.1手数料の返金に関する声明

OTEトークンを使用してデジタル資産の高頻度自動定量化取引を行う。発生した費用は、OTEの現在の市場価値に応じてユーザーに還元される。

## 第四章 ユーザーのインセンティブメカニズム

### 4.1 ユーザー・インセンティブの説明

OTE TOKENユーザーはOTE TOKENハイで契約作成者の役割を果たすことができるデジタル資産取引を頻度自動定量化し、取引を高頻度自動定量化することでより多くのOTE収益を得る。